

国際大会運営人材育成支援事業

研修派遣プログラム概要説明

(短期派遣)

令和 8 年 7 月版

スポーツ庁参事官（国際担当）

公益財団法人愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会

愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会研修派遣プログラム事務局（合同会社デロイト トーマツ）



【目次】

1. <u>研修派遣プログラムの概要</u>	P.2
2. <u>研修派遣プログラム実施の背景・目的</u>	P.3
3. <u>研修派遣プログラム（短期派遣）の概要・基本情報</u>	P.4
4. <u>短期派遣プログラムの内容、得られる知見・経験</u>	P.5
5. <u>研修派遣プログラム参加のメリット</u>	P.10
6. <u>スケジュール・今後の流れ</u>	P.12
7. <u>質疑応答</u>	P.14
8. <u>参考資料</u>	P.17



スポーツ庁

国際競技大会を契機とした研修派遣プログラム概要

1. 趣旨

国際スポーツ大会の運営に関する実践的な学びを得る機会を提供することを目的として、国際大会の招致・開催に関心のある地方自治体やスポーツ団体等の職員を対象に、2026年に開催される第20回アジア競技大会、第5回アジアパラ競技大会の大会組織委員会に研修として派遣する取組を行う。

2. プログラム

大会期間前後の研修派遣については、派遣元となる地方自治体等および受け入れ側の大会組織委員会のニーズに対応するため、次のとおり期間や職階、配置されるポジションに複数のパターンを設定。実際の業務経験に加えて座学での研修の機会も提供予定。

	① 長期派遣(管理職)	② 長期派遣(管理職以外)	③ 短期派遣
派遣期間	開始可能時期～2026年10末頃	開始可能時期～2026年10末頃	大会開催1週間前～大会期間中 (3週間程度を想定)
受入れ先	会場運営 (VGMまたはDeputy VGM)	競技運営(SV) 会場運営(会場担当) 観客運営(会場担当)	競技運営(SV) 会場運営(会場担当) 観客運営(会場担当)
役職	管理職級	係員～課長補佐 (職名を問わず非管理職層)	係員～課長補佐 (職名を問わず非管理職層)
備考	事前にオンライン研修を実施	事前にオンライン研修を実施	事前にオンライン研修および短期出張による現地研修(1-2回程度)を実施



UZUMIN

- ※派遣時期に関しては派遣元組織の業務状況も踏まえて大会組織委員会と協議して可能な範囲で調整予定。
- ※大会組織委員会の業務の状況や応募状況等によって希望に沿えない可能性があります。
- ※**交通費、宿泊費については、令和7年度補正予算における国際競技大会に係る研修派遣プログラム（スポーツ庁委託事業）により負担。**
人件費は原則として派遣元組織が負担することを想定。



HONOHON

【お問い合わせ先】

愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会研修派遣プログラム事務局（合同会社デロイト トーマツ）
メール：kenshuuhaken@tohmatsumatsu.co.jp

スポーツ庁参事官(国際担当)付 荒川、本多、國分
TEL：03-6734-3543 メール：skokusai@mext.go.jp



研修派遣プログラムの背景と目的

国際競技大会の運営ノウハウを習得し所属元の自治体・組織に持ち帰り、所属元で今後の大会開催に関与する際に中心的な役割を担っていただくためのプログラムです



研修派遣プログラム実施の背景

- スポーツ庁では、大規模国際競技大会における中核人材を育成・確保するための教育プログラムを整備
- 大会開催はスポーツ振興、国際交流、地域・経済活性化に重要だが、開催地以外へのノウハウ・レガシー継承は不足



研修派遣プログラム実施の目的

- 第20回アジア競技大会及び第5回アジアパラ競技大会を活用し、座学＋実地研修により国際大会運営人材を育成すること
- 開催地以外への自治体・団体への大会運営ノウハウ・レガシー継承を促進すること
- 参加者・関係者等のネットワークを構築すること



スポーツ庁

国際競技大会を契機とした研修派遣プログラム概要（短期派遣）

第20回アジア競技大会及び第5回アジアパラ競技大会の機会を活用し、国際大会運営の実務経験を得ていただきます。その経験を所属組織に持ち帰り、今後の大会招致・運営で還元していただくための取組です。

■ 短期派遣参加者に向けては、以下のコンテンツを提供予定

1. 本人向け事前説明・事前研修

- 参加にあたってのルールなど、伝達事項の共有
- スポーツ庁により公表済の手引き※・動画等を活用した座学中心の講習
- 座学で習得できない学びの獲得のためのワークショップや講演

2. テストイベントの視察

- 大会のテストイベントを視察し、本番さながらの現場運営を見学（参加者間の交流も予定）

3. 実地研修（開会直前～大会期間中に競技会場内で勤務し、競技運営・会場運営・観客運営等の業務を経験）

4. 事後研修（長期派遣者とも合同で実施予定）

- ①：アジア大会・アジアパラ大会の各閉会直後に実施（どちらか一方に参加）
 - ・ 参加証の授与、事前研修や実地研修で得た知見/経験を参加者間での共有（ネットワーキング）
- ②：アジアパラ閉会から1か月程度経過後に実施（全参加者が参集）
 - ・ 習熟度テスト、修了証の授与、大会招致・運営に関するグループディスカッション

【プログラムの流れ（短期派遣）】



※手引き：https://www.mext.go.jp/sports/content/20251218-spt_skokusai-000046413_1.pdf



短期派遣プログラム ー本人向け事前説明・事前研修ー

研修派遣参加に向けた情報共有と、実地研修に向けて事前に理解いただきたい知識・マインドの学習コンテンツを提供します

8月最終週・オンライン予定
(研修派遣参加者には別途ご案内)

ご本人向け説明パート
(約30分)



- 研修派遣プログラムの全体像やルールを事務局よりご説明
- 研修派遣プログラムや実地研修に対する不明点を解消いただく

講義パート
(約50分)



- スポーツ庁作成の手引きをもとに、大会運営の実務を講義で学び、実地研修に向けて解像度を高めていただく
- 講師として、手引き作成にも携わられた有識者をご登壇予定

※[国際競技大会招致・開催に係る手引き](#)

講演パート
(約50分)



- 競技関係者目線、および自治体目線で、国際大会の招致・運営に関する要点や実務、狙いについての講演を実施
- NF（国内競技団体）の役員の方、および自治体で国際大会の招致・運営に関与されていた方がご登壇予定



短期派遣プログラム ーテストイベント視察ー

座学では拾いきれない実際の現場でのオペレーションを見学することで、実地研修前に業務や大会運営の理解度を高めていただきます

8/22（土）、愛知県内
(研修派遣参加者には別途ご案内、
参加可否を確認予定※)

テストイベント視察

@金城ふ頭駅前
特設コート



- 大会組織委員会主催の、3×3バスケットボール競技のテクニカルリハーサルを視察
- 競技運営の流れや現場での実務を学んでいただき、運営従事者目線での雰囲気を感じていただく

ネットワーキングイベント

@名古屋駅周辺の会議室



- 参加者間の横の繋がりを形成し、研修派遣修了後も協力先・協業先として生かしてもらうための交流会を実施
- 初回となるこの場では、ネットワーキングの意義やお願い事項の説明、自己紹介や簡単なグループワーク等を実施予定

※ 派遣開始前のため任意参加です



短期派遣プログラム ー実地研修ー

国際大会における競技・会場・観客運営における現場リーダー相当としての業務を経験していただきます

【派遣期間中の業務内容例】

配属：会場担当またはSV※（大会期間中のみ）

■ 大会期間中：競技会場内で以下のような業務に従事（例）

- アクレディテーションカウンターの運営補助
- 各競技会場及びその周辺におけるアンブッシュマーケティング対応業務
- 国際放送センター、ホスト放送局の運営補助
- ドーピング検査員や検査職員との連絡、調整、報告
- 競技会場、練習会場等における医療拠点(医務室・救護室)業務
- パートナー（スポンサー）企業対応の補助
- 各競技会場、ホテル等に設置されるOCAファミリーラウンジ業務
- ボランティアのチェックイン、配布物の管理
- メディア関係者等への受注物品の受け渡し、管理等
- 持ち込み検査等の補助
- 競技スケジュール、結果、スタートリスト、気象情報の出力や掲示、配布
- 練習スケジュールの予約や変更の対応、管理
- 各競技会場におけるTECヘルプデスクの支援業務
- パートナー（スポンサー）企業等関係者のチケットボックスへの案内
- 各競技会場、ホテル等における輸送業務
- 会場における仮設物のトラブル対応等

なお、担当業務は配属される競技・会場により異なる。

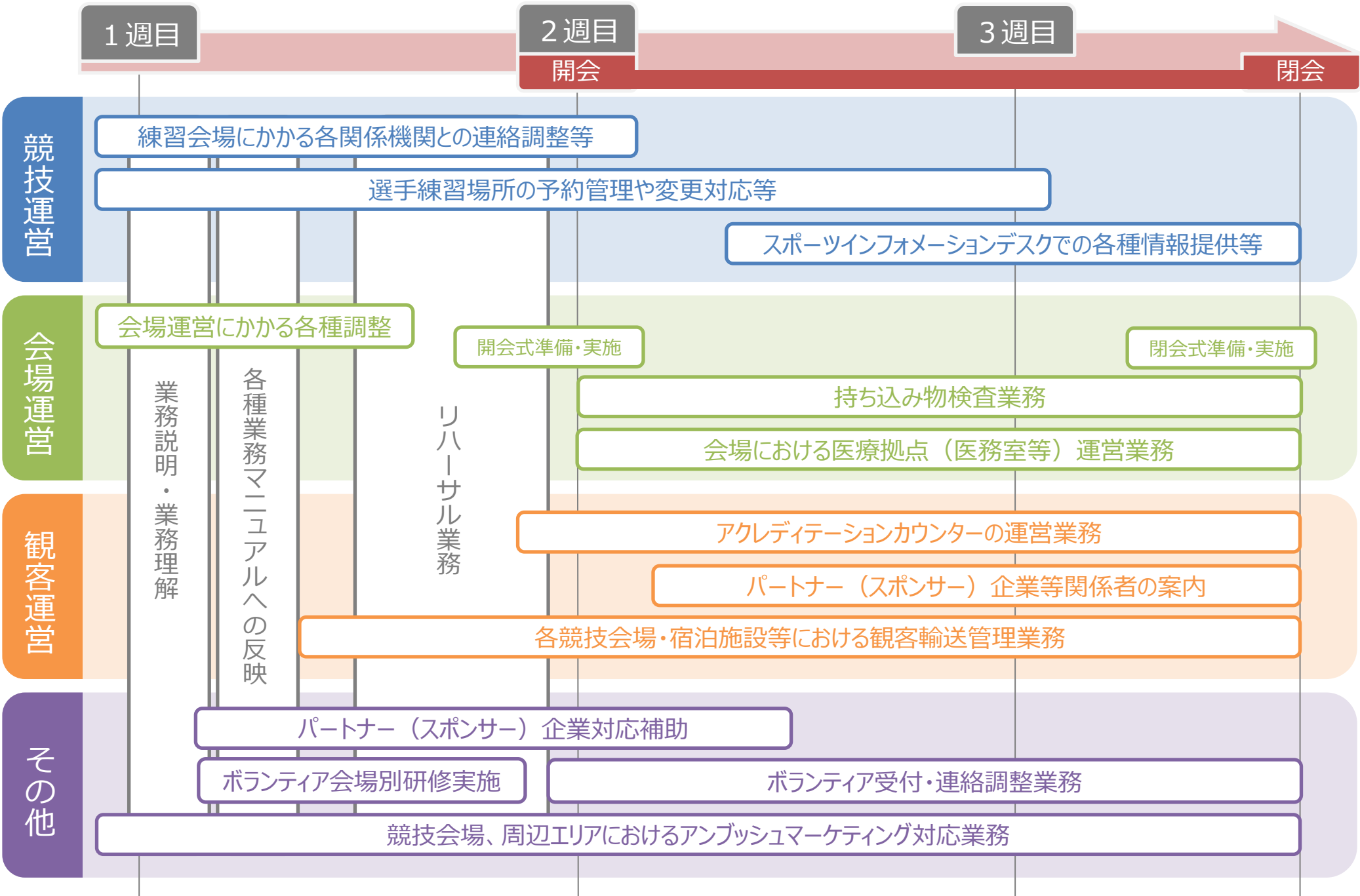
（再掲）	短期派遣
派遣期間	大会開催1週間前～大会期間中 （3週間程度を想定）
受け入れ先	競技運営（SV） 会場運営（会場担当） 観客運営（会場担当）
役職	係員～課長補佐 （職名を問わず非管理職層）

※SV・・・Super Visor（現場管理者）

4. 短期派遣プログラムの内容、得られる知見・経験



短期研修派遣期間中の業務イメージ

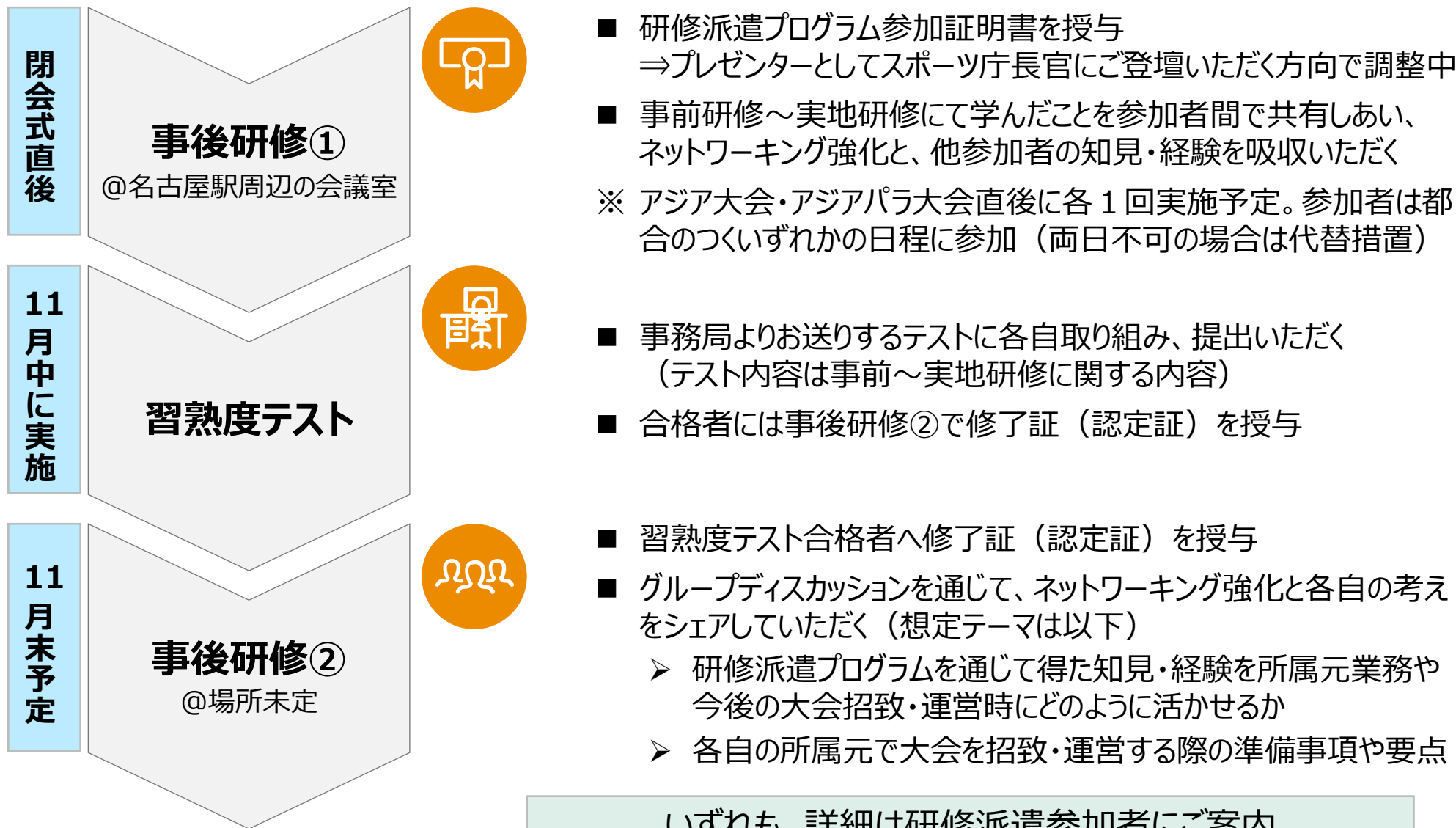




スポーツ庁

短期派遣プログラム ー事後研修ー

研修派遣プログラムを単なる経験に留めず、参加者間の繋がり形成、他参加者の知見・経験の吸収に努めていただき、ご自身にも所属元組織にも多くの財産を持ち帰っていただきます



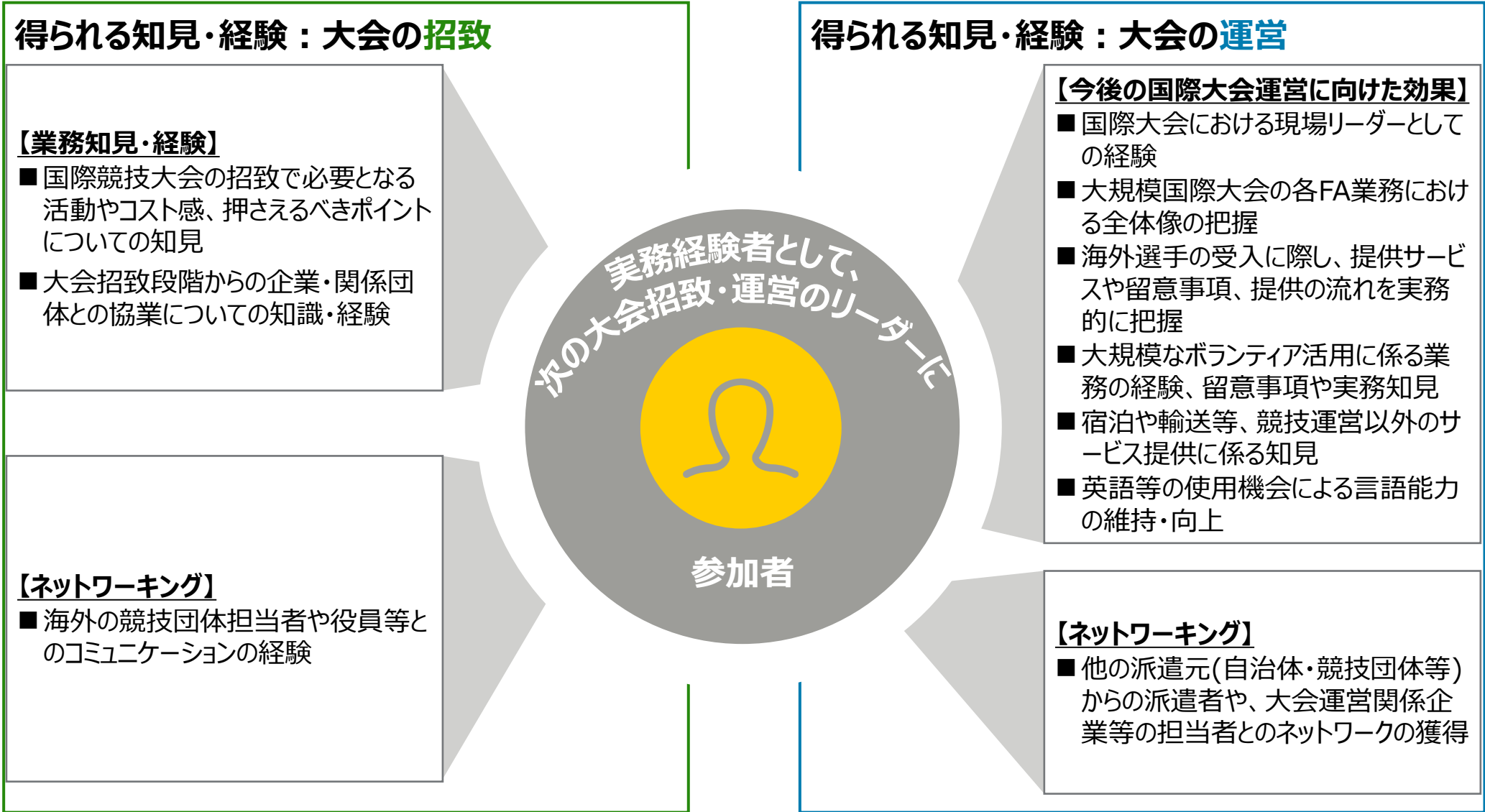
いずれも、詳細は研修派遣参加者にご案内



【職員ご本人】研修派遣プログラムに参加することで得られる知見・経験

スポーツ庁

研修派遣プログラムの各コンテンツを通じ、参加者の方には以下のような知見や経験をお持ち帰りいただきます





【所属元組織】研修派遣プログラムに参加することで得られる知見・経験

研修派遣参加者が持ち帰った知見・経験を組織として共有し、今後の業務に活用いただけます

① 組織知化

- ✓ 研修派遣参加者に、得た知見・経験や学び、ネットワークを**所属元組織へ共有**いただく
- ✓ 研修派遣参加者は知見・経験を活かし、所属元での大会招致・運営時に**リーダー的存在**として活躍していただく

- ✓ 国際競技大会の招致に**必要となる活動や設営等のコスト感**、本番当日を想定した事前に押さえるべきポイントについての知見を組織として獲得
- ✓ 招致を検討する競技の**IF役員等との交流・交渉チャンネル**を持っている、またはそのための**経験者**を組織として獲得

② 大会招致における知見・経験の獲得

③ 大会運営における知見・経験の獲得

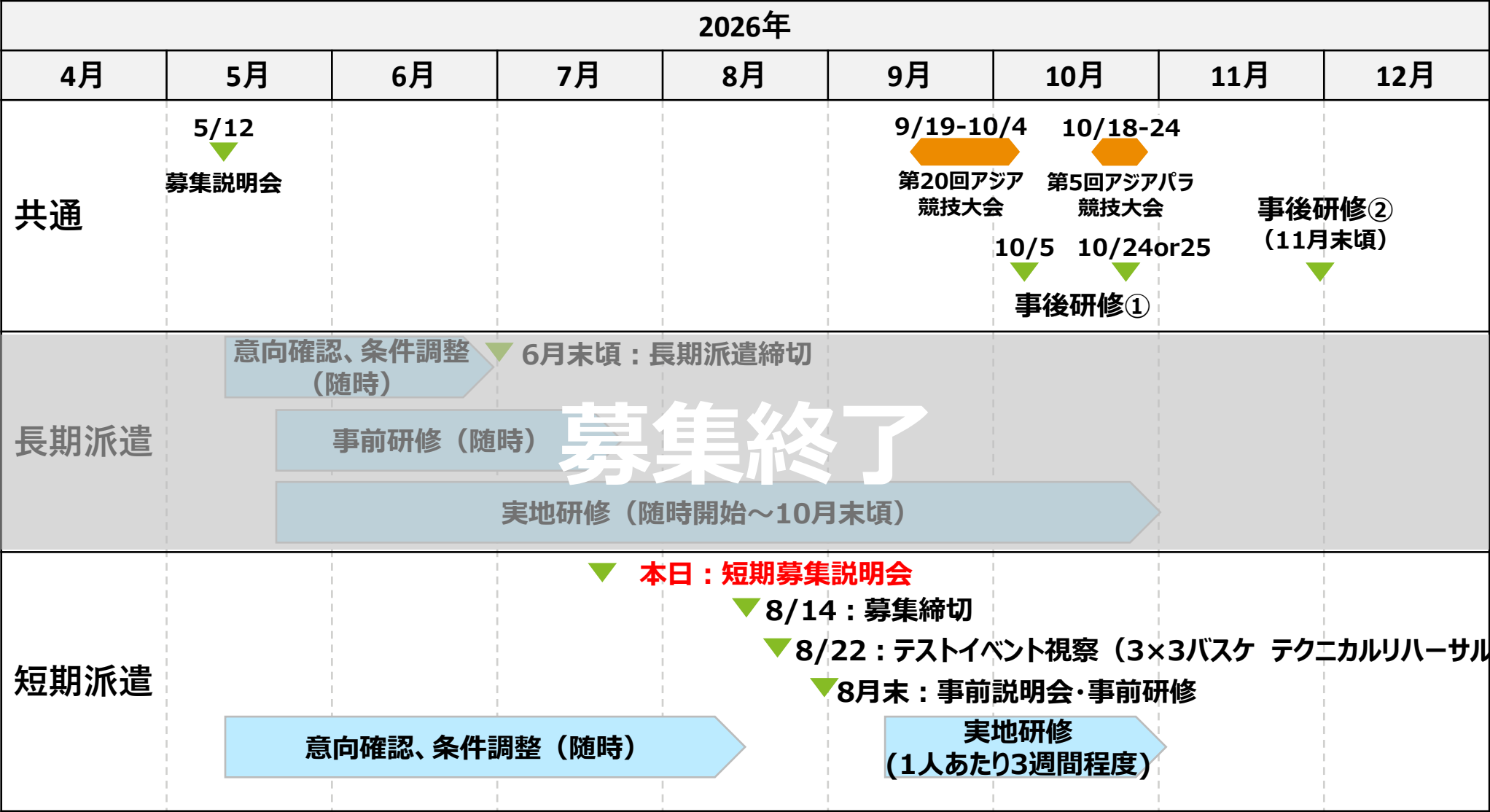
* 組織として以下の知見・経験を獲得

- ✓ 大規模国際大会の**運営に係るコスト感を把握**
- ✓ **海外選手の受入**に際し、留意事項や提供すべきサービスを把握
- ✓ 宿泊や輸送、食事等、**競技運営以外のサービスに関する知見**を得る
- ✓ 国際大会運営時の**トラブル等対応に関する知見**を得る
- ✓ 他の派遣元組織とのネットワークを生かし、**協業先・協力先候補との接点**
- ✓ 皇室関係や国際儀礼、報道対応など、**スポーツ大会に限らないスキル**



国際競技大会を契機とした研修派遣プログラム 全体スケジュール

短期派遣は3週間程度の実地研修を予定しております。派遣期間や対象の大会にご希望等がある場合は参加申込時にお知らせください。
ご希望をふまえ派遣調整を実施し、期間や対象業務を決定いたします。





今後の流れと伝達事項

【今後の流れ】

- 研修派遣プログラムへご参加を検討いただける場合、ご参加候補者のご意向確認をお願いいたします。
- ご参加候補者が決まり次第、開始時期や条件等についてスポーツ庁・事務局と調整させていただきます。
(この時点では参加を確定させる必要はございません。)
- 開始時期や条件等で合意できましたら、参加開始に向けてご案内・情報をご提供いたします。
- **短期派遣は8月14日(金)**を募集締め切りとする予定です。

【発生費用の負担先】

費目	負担先	派遣元	ご本人	研修派遣プログラム事務局
ご本人の人件費		○		
赴任/帰任のための旅費				○
研修派遣期間中の通勤費				○
(県内外を問わず) 研修期間中の出張旅費				○
研修派遣期間中の マンスリーマンション・ホテル代				○
私用のための移動費			○	

【お問い合わせ先】

- 愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会研修派遣プログラム事務局（合同会社デロイトトーマツ）
 - Mail : kenshuuhaken@tohatsu.co.jp

スポーツ庁

これまでの主な質問事項への回答（令和8年7月更新）

#	分類	質問	回答
1	申込	研修派遣期間は、派遣元組織の業務状況も踏まえて大会組織委員会と協議して可能な範囲で対応することとされているが、どの程度調整できるものなのか	従事する業務にもよるため、必要に応じご相談ください。
2		オリンピック・パラリンピックの競技ではないが参加可能か	参加可能です。
3		大学教員の参加は可能か	参加可能です。長期派遣において、大学職員の方の研修派遣参加事例もございます。
4		応募者多数の場合は抽選等の可能性はあるか	基本的に抽選等は想定しておりません。特に短期派遣においては可能な限り多くの方にご参加いただきたい所存でございます。
5		パラ大会のみの派遣や1週間ごとに派遣職員を変えることは可能か	アジア大会かアジアパラ大会かは派遣元と組織委員会で協議のうえ決定します。 1週間ごとに派遣職員を変えることについては、個別に具体的に相談させていただきます。 なおその場合、引継ぎが発生することになりますが、組織委員会やスポーツ庁での対応が難しいこともあり、当事者間（派遣元側）で調整していただければ可能性はあり得ると考えております。
6		短期派遣の場合、年齢は若い方がよいか	年齢に指定はなく、参加したい、又は派遣元として経験を積ませたい方に参加いただきたい所存でございます。
7		所属元都合により、1週間程度の派遣は可能か	派遣時期や業務内容によります。組織委員会との協議にて相談させていただきます。

#	分類	質問	回答
8	派遣条件	派遣中の職員の身分・待遇はどのようなになるか	協定に基づく研修派遣となり、人件費は派遣元組織に負担していただくことになります。交通費、宿泊費については、令和7年度補正予算における国際競技大会に係る研修派遣プログラム（スポーツ庁委託事業）において負担します。
9		派遣先は愛知県だけか	派遣先はご相談のうえで決定する。競技会場が主たる派遣先となるため、愛知県外の会場への派遣も可能である。 実際に既に東京会場で派遣開始されている例もある。



これまでの主な質問事項への回答（令和8年7月更新）

#	分類	質問	回答
10	経費 精算	事務局負担となる帰任・赴任旅費、通勤費・出張旅費、ホテル代に上限額の設定はあるか	上限はなく、実費をご負担いたします。 ただし、航空機や新幹線をご利用の場合は所属元組織の旅費規程に準じた券種・座席種別でお願いいたします。 なお派遣決定後にご本人には案内いたしますが、お振込みにあたり領収書はご用意いただきます。 また、ホテルは手配・料金支払とも事務局にて対応するため、ホテル代の立替は発生いたしません。 ※事務局にて手配したホテルの料金によって立替交通費の上限を設けるような運用もございません。
11		派遣元組織の規程等による都合で、交通費を派遣元組織で建て替えることになるが、派遣元へ振り込むことは可能か	可能です。 派遣元の振込口座情報を提供いただくか、納付通知書等を事務局へお送りいただくことで、事務局からご本人ではなく派遣元組織へ支給いたします。
12		交通費等の振込申請は月次か	ご本人の立替負担を軽減するため、基本的には月次での申請受領・振込対応しております。 ただし所属元へ振り込む場合等に終了後一括等のご希望がある場合は、可能な限りご希望を組むのでご相談ください。



- アジア競技大会は、アジア・オリンピック評議会（OCA）の主催で4年に1度開催されるアジア最大の総合スポーツ大会。日本では、1958年に東京、1994年に広島で開催されて以来、32年ぶり3度目の開催となる。
- アジアパラ競技大会は、アジアパラリンピック委員会（APC）の主催で4年に1度開催されるアジア最大の障害者の総合スポーツ大会であり、日本では初めての開催。
※オリンピック・パラリンピックのような同一都市での開催規定はないが、過去大会は全てアジア競技大会と同一都市で開催。

経緯等

- 2016（H28）年5月、愛知県・名古屋市が共同で第20回アジア競技大会招致を表明
- 2016（H28）年9月、アジア・オリンピック評議会総会において、アジア競技大会の開催都市に愛知県、名古屋市が決定
- 2018（H30）年8月、アジア競技大会における開催都市契約を締結
- 2018（H30）年9月、アジア競技大会にかかる閣議了解
- 2022（R4）年3月、愛知県・名古屋市が共同で第5回アジアパラ競技大会招致を表明
- 2022（R4）年4月、アジアパラリンピック委員会理事会において、アジアパラ競技大会の開催都市に愛知県、名古屋市が決定
- 2022（R4）年7月、アジアパラ競技大会にかかる閣議了解
- 2023（R5）年3月、アジア競技大会の規模縮小に向けてOCAとの調整を開始
- 2023（R5）年10月、アジアパラ競技大会における開催都市契約を締結
- 2025（R7）年12月、愛知・名古屋アジア競技大会及び愛知・名古屋アジアパラ競技大会に関する特別措置法（議員立法）が成立、補正予算で大会開催関連経費を計上

大会概要

	アジア競技大会	アジアパラ競技大会
主催者	アジア・オリンピック評議会（OCA）	アジアパラリンピック委員会（APC）
運営組織	（公財）愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会（AINAGOC）	
コンセプト	✓ アスリートファーストの視点 ✓ 既存施設の活用 ✓ 先端技術の駆使 ✓ 伝統と県民・市民性に触れるおもてなし ✓ アジア競技大会・アジアパラ競技大会の開催を誇りに、さらなるスポーツ文化の普及へ貢献	
スローガン	IMAGINE ONE ASIA ここで、ひとつに。	IMAGINE ONE HEART こころを、ひとつに。
開催期間	2026年9月19日～10月4日	2026年10月18日～24日
開催都市	愛知県、岐阜県、大阪府、静岡県、東京都	
参加国・地域	アジア45の国と地域	
参加者数	最大15,000人（選手・役員）	3,600～4,000人（選手・役員）
実施競技	43競技	18競技
大会経費	2,980億円※	

※この他、開催都市負担による大会関連経費として約700億円を計上

実施競技・会場一覧

アジア競技大会

●アジア5地域の競技 ●組織委員会提案競技 ●OCA提案競技

	競技	種別	競技会場
1	水泳	競泳／飛込	① 東京アクアティクスセンター
		アーティスティックスイミング	② 古橋廣之進記念浜松市総合水泳場[ToBiO]
		水球	③ 名古屋市総合体育館 [レインボーホール]
2	アーチェリー	リカーブ/コンパウンド	④ 岡崎中央総合公園多目的広場
3	陸上競技	(トラック/フィールド)	⑤ 名古屋市瑞穂公園陸上競技場
		(マラソン)	⑤ 名古屋市瑞穂公園陸上競技場 (都心コース)
		(競歩)	⑥ 愛知県庁・名古屋市役所周辺コース
4	バドミントン		⑦ 一宮市総合体育館
5	野球・ソフトボール	(野球)	⑧ 岡崎中央総合公園野球場
		(ソフトボール)	⑨ 豊橋市民球場
			⑩ 安城市総合運動公園ソフトボール場
6	バスケットボール	バスケットボール 3×3	⑪ 愛知国際アリーナ
7	ボクシング		⑫ 金城ふ頭駅前特設コート
8	ブレイキン		⑬ 西尾市総合体育館
9	カヌー・カヤック	スプリント	⑭ 愛知県国際展示場[Aichi Sky Expo]
		スラローム	⑮ 三好池カヌー競技場
			⑯ 矢作川カヌースラロームコース
10	コンバットスポーツ	柔術	⑰ 愛知県武道館
		クラッシュ	⑰ 愛知県武道館
		総合格闘技	⑰ 名古屋市稲永スポーツセンター
11	クリケット	T20	⑱ 口論義運動公園野球場
12	自転車競技	トラックレース	⑲ 伊豆ベロドローム
		ロードレース	⑲ 新城市内発着コース
		マウンテンバイク	⑲ 小幡緑地
		BMXレース	⑲ 名古屋競輪場 BMXレースコース
		BMXフリースタイル	⑲ 愛知県国際展示場[Aichi Sky Expo]
			⑲ JRA馬事公苑
13	馬術	馬場馬術／総合馬術／障害馬術	⑲ 愛知県国際展示場[Aichi Sky Expo]
14	Eスポーツ		⑲ 愛知県国際展示場 [Aichi Sky Expo]
15	フェンシング	フルレ/エペ/サーブル	⑲ 愛知県国際展示場 [Aichi Sky Expo]
16	サッカー		⑲ 豊田スタジアム
			⑲ 名古屋市港サッカー場
			⑲ ウェーブスタジアム刈谷
			⑲ 名古屋市瑞穂公園ラグビー場
			⑲ 長良川競技場
			⑲ 小笠山総合運動公園エコパスタジアム
17	ゴルフ		⑳ 春日井カントリークラブ 東コース
18	体操	体操／新体操／トランポリン	㉑ 名古屋市総合体育館 [レインボーホール]
19	ハンドボール		㉒ 春日井市総合体育館
			㉓ 豊田合成記念体育館[エントリオ]
20	ホッケー		㉔ 岐阜県グリーンスタジアム
21	柔道		㉕ 愛知国際アリーナ
22	カバディ		㉖ 東海市民体育館
23	空手	組手/型	㉗ 豊橋市総合体育館
24	近代五種		㉘ 安城市総合運動公園

	競技	種別	競技会場
25	パデル		- 調整中
26	ローイング		㉙ 長良川国際レガッタコース
27	ラグビー	ラグビー7s	㉚ 名古屋市瑞穂公園ラグビー場
28	セーリング		㉛ 海陽ヨットハーバー
29	セパタクロー		㉜ 名古屋市瑞穂公園体育館
30	射撃	ライフル&ピストル/ショットガン	㉝ 愛知県総合射撃場
31	スケートボード		㉞ 愛知県国際展示場 [Aichi Sky Expo]
32	スポーツクライミング		㉞ 名古屋市国際展示場[ポートメッセなごや]
33	スカッシュ		㉟ 名古屋金城ふ頭アリーナ
34	サーフィン		㊱ 田原市赤羽根町大石海岸 (ロングビーチ)
35	卓球		㊲ スカイホール豊田
36	テコンドー	キョルギ/プムセ	㊳ 豊橋市総合体育館
37	テニス	テニス/ソフトテニス	㊴ 名古屋市東山公園テニスセンター
38	テックボール		- 調整中
39	トライアスロン		㊵ 蒲郡市内特設コース
40	バレーボール	バレーボール	㊶ 岡崎中央総合公園総合体育館
		ビーチバレーボール	㊷ 小牧市スポーツ公園総合体育館
			㊸ 碧南緑地ビーチコート
41	ウェイトリフティング		㊹ 名古屋市中小企業振興会館
42	レスリング	フリースタイル/グレコローマンスタイル	㊺ 名古屋市稲永スポーツセンター
43	武術太極拳		㊻ 愛知県武道館



実施競技・会場一覧

アジアパラ競技大会

競技	種別	競技会場
1 アーチェリー		① 岡崎中央総合公園多目的広場他
2 陸上競技		② 名古屋市瑞穂公園陸上競技場
3 バドミントン		③ 一宮市総合体育館
4 ボッチャ		④ 名古屋市総合体育館[レインボーホール]
5 自転車競技	トラック	⑤ 伊豆ベロドローム
	ロード	⑥ 日本サイクルスポーツセンターサーキット
6 ブラインドフットボール		⑦ 名古屋市鶴舞公園多目的グラウンド[テラスポ鶴舞]
7 ゴールボール		⑧ 豊橋市総合体育館
8 柔道		⑨ 愛知県武道館
9 パワーリフティング		⑩ 名古屋市中企業振興会館
10 射撃		⑪ 愛知県総合射撃場
11 バレーボール（座位）		⑫ 岡崎中央総合公園総合体育館
12 水泳		⑬ 名古屋市総合体育館[レインボープール]
13 卓球		⑭ スカイホール豊田
14 テコンドー		⑮ 名古屋市瑞穂公園体育館
15 車いすバスケットボール		⑯ 愛知国際アリーナ
16 車いすフェンシング		⑰ 名古屋市稲永スポーツセンター
17 車いすラグビー		⑱ ウイングアリーナ刈谷
18 車いすテニス		⑲ 名古屋市東山公園テニスセンター

②名古屋市瑞穂公園陸上競技場



⑯愛知県新体育館



愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会開催支援

令和7年度補正予算額

136億円



現状・課題

我が国で国際競技大会を開催することは、スポーツの振興や国際交流、国際親善や経済・地域の活性化など、様々な分野において重要な機会となる。
令和8年に開催される愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会(アジア・アジアパラ大会)は、大規模かつ国家的に重要なスポーツの競技会であることに鑑み、最近における社会経済情勢の急激な変化に対して経費の削減等を図りつつ的確に対応するとともに、大会の円滑かつ安全な実施を確保する観点から、成功に向けて国として開催支援に取り組む必要がある。

事業内容

①アジア・アジアパラ大会開催関連経費の支援 127億円

大会の準備及び運営を行うことを目的とする公益財団法人愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会に対し、大会の準備又は運営に要する経費のうち、共生社会の実現に資するアジアパラ大会の開催関連経費、アジア大会の安全な実施に伴う経費として警備関係経費の一部を補助する。

	アジア競技大会	アジアパラ競技大会
主催者	アジア・オリンピック評議会(OCA)	アジアパラリンピック委員会(APC)
運営組織	(公財) 愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会(AINAGOC)	
開催期間	2026年9月19日～10月4日	2026年10月18日～24日
開催都市	愛知県、岐阜県、大阪府、静岡県、東京都	
参加国・地域	アジア45の国と地域	
参加者数	最大15,000人(選手・役員)	3,600～4,000人(選手・役員)
実施競技	43競技	18競技



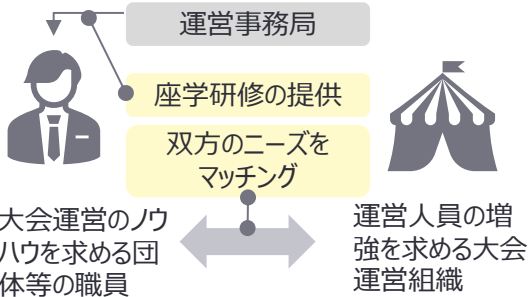
国際競技大会を契機とした機運醸成の取組

②国際競技大会を契機としたスポーツ振興 等 8.4億円

アジア・アジアパラ大会を契機として、性別や年齢、障害の有無等にかかわらず多様な人々を対象とした全国的なスポーツの機運醸成等の取組を実施するとともに、地方公共団体が実施するスポーツ参画人口の拡大に資するスポーツによる地域活性化の取組を支援する。

③国際競技大会に係る研修派遣プログラム 1.0億円

地方公共団体やスポーツ団体の職員に対して、アジア・アジアパラ大会の業務に関する実地での経験や座学での学習を組み合わせた研修プログラムを提供する。大会開催者と調整し、派遣期間や派遣先の分野など幅広い選択肢を用意することで、高い研修効果がもたらされるようにするとともに、受け入れ側にとってもメリットの大きい取組を目指す。また、研修の成果が今後の大会誘致につながるよう取組を実施する。



研修派遣プログラムのイメージ

スポーツ国際展開基盤形成事業

令和8年度予算額（案）
（前年度予算額）

192,307千円
210,397千円）



背景・課題

- 国際社会においてスポーツの力により「多様性を尊重する社会」、「持続可能で逆境に強い社会」「クリーンでフェアな社会」を実現するため、国際的な政策・ルール作りに積極的に参画し、スポーツを通じた国際交流・協力を戦略的に展開することが重要。
- 国際オリンピック委員会（IOC）、国際パラリンピック委員会（IPC）、国際競技連盟（IF）等の国際機関における日本人役員は現在42人（令和7年3月末時点）と増加傾向にあるものの、依然として先進諸国とはポスト獲得数に差がある状況。
- 2026年愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会をはじめとして、今後、国内で開催される国際競技大会の大会運営や大会の招致活動等に関して国際競技団体との調整を中心的な立場で担う人材の育成を支援する。
- 政府間会合への参画及び合意事項の履行等の取組により、スポーツを通じた持続的な開発と平和の実現に貢献する。

事業内容

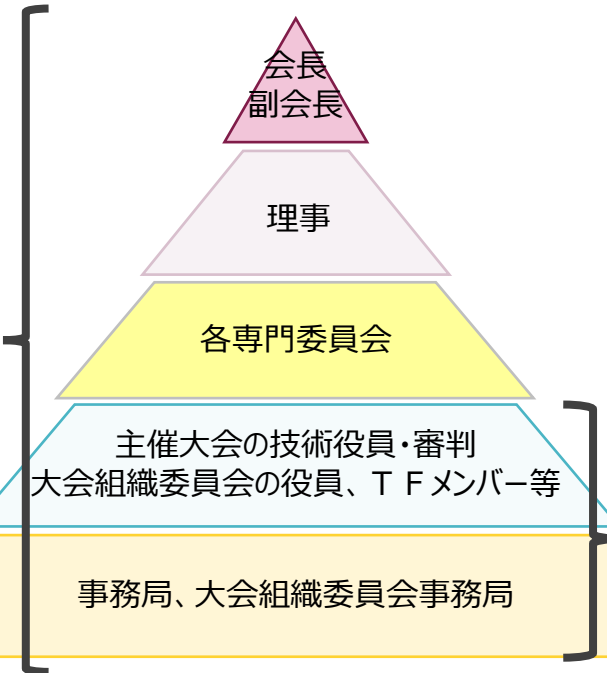
期間：平成27年度～

「スポーツ国際人材育成支援事業」

IF等役員ポスト獲得支援 67百万円（72百万円）
◆ 国際スポーツ界の政策決定プロセスの中核であるIF・AF等の日本人役員の増加及び再選に向けた取組を支援するとともにAF役員獲得に向けた取組を強化する。

人材育成プログラムの開発 18百万円（20百万円）
◆ 国際スポーツ界の役員となるために必要なスキルや国際戦略等を習得するための国際人材育成に係る教育プログラムを開発し、IF・AF等の役員候補者・次世代候補者へ支援を実施。
＜対象＞ JOC、JPC加盟団体の役員、役員候補者（既存IF役員、IF役員候補者、次世代候補者）

国際人材派遣支援 4百万円（4百万円）
◆ 国際スポーツ界の中核的存在となる次世代人材を国際機関等（IF、IOC、IPC、国際競技大会の組織委員会等）へ派遣し、国際環境で実践的な実務に従事する機会を与える。



「スポーツ国際政策推進基盤の形成」

政府間会合の開催・合意事項の履行
66百万円（81百万円）
◆ 日中韓スポーツ大臣会合等に参画する。
◆ 日ASEANの持続的なスポーツ協力の発展のため、日ASEANスポーツ大臣会合の合意事項に取り組む。
＜協力内容＞ 体育教師教育推進、障害者スポーツの発展、スポーツを通じたジェンダー平等推進

「国際大会運営人材育成支援事業」

国際大会運営人材の育成支援
28百万円(30百万円)
◆ 国内で開催される国際大会の運営や大会の招致活動において地方公共団体やスポーツ団体等のなかで中心的な立場を担うことができる人材の育成等を支援するため、動画教材の作成等を行う。
＜受講想定者＞ 大会運営を担う人材（地方自治体職員、NFスタッフ、元選手、大学関係者、民間企業スタッフ等）

「大規模国際大会におけるガバナンス構築」に関するオンデマンド教材

【概要】

令和 5 年 3 月にスポーツ庁等の有識者会議が策定した「大規模な国際又は国内競技大会の組織委員会等のガバナンス体制の在り方に関する指針」を中心に解説した動画教材で令和 7 年 1 月に公開開始。
大規模国際大会を開催する地方公共団体・スポーツ団体等において参考となるように作成。

【構成】

- ・ 第 1 回：ガバナンス構築の重要性①～組織の特性を踏まえたガバナンス確保の目的～
- ・ 第 2 回：ガバナンス構築の重要性②～ガバナンス指針の運用方法～
- ・ 第 3 回：ガバナンス指針の各論①～基本計画の策定・公表、組織の体制整備～
- ・ 第 4 回：ガバナンス指針の各論②～コンプライアンス委員会設置・教育の意義・機能～
- ・ 第 5 回：ガバナンス指針の各論③～組織運営に必要な体制・情報開示～
- ・ 第 6 回：ガバナンス指針の各論④～利益相反～
- ・ 第 7 回：ガバナンス指針の各論⑤～通報・懲罰制度～
- ・ 第 8 回：ガバナンス指針の各論⑥～危機管理体制・不祥事対応～
- ・ 第 9 回：最後に～講座のキーポイント復習～



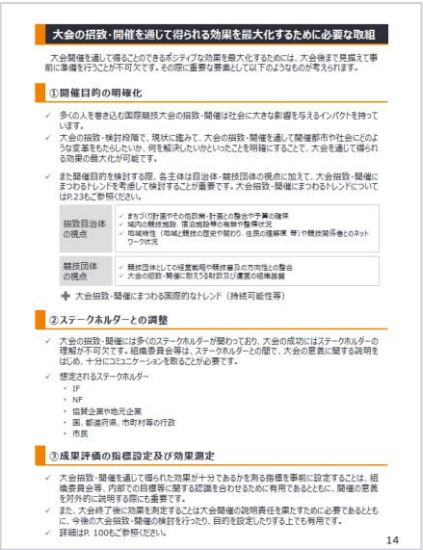
原則8：利益相反を適切に管理すべきである
利益相反の管理の流れ



【国際大会運営人材育成支援事業関係】 国際競技大会招致・開催に係る手引き等について

【国際競技大会招致・開催に係る手引き】

本手引きは、国際競技大会の招致の目的設定から国際競技大会の運営組織組成、国際競技大会の開催前演習の取組など、大会招致・開催に初めて携わる職員等が業務の全体像を把握できるように内容をまとめたものとなります。総合競技大会や単一の競技大会、大会規模などにも留意しながら、直近数年間に我が国で開催された大会の事例を踏まえて作成しています。近日中に公開する予定です。



【コラム】

国際競技大会の開催に関して参考となる情報をコラムとして発信しています。今後も新しいコラムを発信予定です。

- 【2025年コラム1】国際スポーツ大会開催の価値や意義を社会や地域にもたすために（早稲田大学 高橋義雄教授）
- 【2025年コラム2】横浜市が国際スポーツ大会の招致・開催を通じて目指す街の姿とは？（横浜市 にぎわいスポーツ文化局スポーツ振興部長 熊坂 俊博氏）
- 【2025年コラム3】川崎市が力を入れる、アーバンスポーツの持つ力とは？（川崎市市民文化局市民スポーツ室若者文化推進担当課長 石床 高志氏）
- 【2025年コラム4】国際スポーツ大会の招致について（公益社団法人 日本プロサッカーリーグ 人材開発オフィサー・公益財団法人 スポーツヒューマンキャピタル 業務執行理事 鈴木 徳昭氏）

【動画作成、講演会】

本年度もこれから「国際大会に関するトレンド」に関する動画作成や大会開催のレガシーや大会開催の舞台裏を自治体や競技団体に伝えるプログラムとして、講演会の開催を検討しています。

プログラム参加者向けの研修コンテンツ（案）概要

今後、それぞれの所属組織へ復帰された際に、国際スポーツ大会の招致・開催に取り組むにあたって有意なノウハウの獲得やネットワーキングを目的として、研修コンテンツのご提供を検討しております（内容は変更となる可能性があります）

講習会/ワークショップ

派遣先の国際スポーツ大会だけでなく、様々な大会における事例や知見を獲得できる講習会やワークショップをご提供します



学識経験者による講習会
（写真は昨年度開催の
オンライン講演会）

視察プログラム

国際スポーツ大会の運営現場（特に本大会のテストイベント等）や会場を視察し、学びを得るプログラムをご提供します



本大会のテストイベントの様子（メダルセレモニーの運営テスト）

ネットワーキング

国内外の競技団体や大会運営ノウハウを持つ民間企業等の関係者とのネットワーキングの機会を提供し、今後の招致活動等に生かしていただくことができます



国際競技団体関係者とのネットワーキング（イメージ）

ガバナンスワークショップ
（イメージ）



本大会のテストイベントの様子（シャトルバスの運行テスト）



民間企業との官民連携企画（イメージ）

